

就労・社会活動部会

令和3年度の報告

障害のある人の就労支援における研鑽を目的に、主に就労系福祉サービス事業所を対象として下記の日程で2回開催しました。就労支援に係る知識の向上やスキルアップ、関係機関との連携強化を進めることにより、地域における就労支援、就労定着の底上げを図っています。

なお、今年度も、十勝障がい者就業・生活支援センター だいち(以下「だいち」といいます。)が主催する「地域就労支援連絡会議」との共催としました。

また、両日程とも、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、完全オンラインでの開催といたしました。

○ 令和3年9月3日(金) 午後3時30分～午後5時 参加者85名

まず、帯広市より、令和2年3月に実施した「帯広市内の就労系福祉サービス事業所へのアンケート及び訪問による聞き取り調査の結果」について、公開されている関連数値等からは見えづらい『実際の体制』や『支援の状況』、『事業所が感じている課題』を分析し、報告いたしました。

次に、だいちより、「十勝管内(町村)の就労系福祉サービス事業所へのアンケート結果から見える現状と課題」を報告いたしました。

いずれのアンケートでも共通して、【支援員のスキル・人材不足】【関係機関の連携】【障害理解の促進】等が現状や課題に挙げられました。

開催時間や開催形態の都合上、事務局からの一方的な報告となってしまいましたが、障害のある人の就労支援に向けた地域課題を共有することができました。

○ 令和4年2月22日(火) 午後1時30分～午後4時30分 参加者75名

第1部として、「十勝地域における障がい者雇用に向けた取り組み」について、今年度の部会及びだいち主催の研修企画、並びに帯広市職場体験実習の総括をいたしました。

第2部では、「テーマ別意見交換会及び学習会」として、5つのグループに分かれ就労支援のプロセスの各段階をテーマに、現場の状況や課題の意見交換を行いました。併せて、聴講形式による就労支援の基本事項を学ぶグループも設けました。

第1回の部会や各研修企画において出されたスキル向上や関係機関の連携の課題を少しでも解消することができたと感じております。